

10月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日 時	平成29年10月17日(火) 午前10時から
場 所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則・林正文・三森智文・幡野勝彦・廣瀬孝子
出 席 事務局員名	角田弘樹、望月好也、高原歳徳、倉田憲一
委員会書記	小林徹

議題及び議事の概要

○議事

(1) 教育委員学校訪問日程について

教育長) 11月17日・21日・27日・28日で行う。日程、訪問者、内容、その他について説明。懇談は、委員の皆さまから学校側へ質問等お話ししていただく形で進めたい。

委員) 学校からの要望についてはどうするか。

教育長) 学校からの要望の大半は施設設備に関してであり、既に施設設備に関しての教育委員の学校訪問は実施し、対応している。ソフト的な話がでてくれば、この機会にお話しすればよいと思う。

(2) 9月議会について

教育長) 9月議会における質問内容と答弁の骨子について資料に基づき説明。

(3) 給食センター稼働に伴うアレルギー対応について

事務局) 文部科学省の学校給食における食物アレルギー対応指針が示されている。市では単独方式からセンター方式と大きく変わることから、文部科学省の指針、県の指針等を参考に、本市の実態を踏まえ、給食に係る食物アレルギー対応マニュアルを策定しているところ。大筋に係る対応方針を資料により説明。

委員) 他市では委託業者の弁当を配食する事例もあるようだが、本市ではどうか。

事務局) 物資の仕入れは市が責任をもって行い、調理については民間委託する。

委員) 万が一アレルギーの発作が起こった場合の対応は。

事務局) アレルギーの対応マニュアルは現在もあるが、給食センター用のマニュアルも整備しているところ。

委員) 保護者からの情報収集をしっかりとって、事前に間違いが起こらないような段取りをお願いしたい。

(4) 全国学力・学習状況調査結果の公表について

事務局) 全国学力・学習状況調査結果の公表の方法について、資料に基づき説明。市全体の結果については数値にて、各学校については言葉での説明としている。

委員) 具体的な学習方法については。

事務局) 個票により個人ごとに担任による指導も行われている。

(5) 北朝鮮の弾道ミサイル等の発射に係る対応について

事務局) 弾道ミサイル等が発射された場合、臨時休校や自宅待機等の方針を一貫性をもって示すため、情報共有や意思決定について校長会において確認。現在の災害等の際の対応と同様、教育長と校長会の会長と協議したうえ、校長会の連絡網により伝達する。総務省や文科省の対応方針に沿う形で対応方針を示した。

(6) シェイクアウト訓練について

事務局) 地震の際の初期対応のためのシェイクアウト訓練を11月1日に行うための訓練実施要項を策定した。11月1日には広域の近隣市とも合同で実施する。

(7) 山梨市小学校英語科教育について

教育長) 各学校の授業の実施状況についてデータを参考に、英語の授業時間を確保するため、来年度は長期休業を2日程度短縮しなければいけないかもしれない。このことについては各学校とも協議中であり、中間報告とさせてほしい。

(8) その他

次回 11月16日(木) 10時から

議決事項

その他、会議において必要と認めた事項